

「本麒麟」が絶好調！

わずか9カ月で、2019年の年間販売数量を突破！

酒税改正後の10月も前年比約2割増産と、好調を継続

キリンビール株式会社（社長 布施孝之）は、「本麒麟」の2020年1～9月の販売数量が、早くも2019年の年間販売数量である1,510万ケース※を突破しました。また「本麒麟」は、10月1日（木）以降の酒税改正で増税となった新ジャンルカテゴリー商品でありながら、10月の製造予定は前年比約2割増と、好調を継続しています。

※大びん換算

国内市場は、コロナ禍による先行き不安で節約志向が進み、同時に「本格感」や「安心感」などへのニーズが高まり、「安くても価値ある商品」を選択する傾向が強まっています。

「本麒麟」は、新ジャンルの価格帯で「うまさ」と「高い品質」を兼ね備えた商品で、今年1月のリニューアルでは強みである“ビールに近い卓越したうまさと品質”を一層強化しました。この「うまさ」と「高い品質」への評価がコロナ禍でさらに高まり、お客様に定番商品として支持いただいています。9月は酒税改正による新ジャンルカテゴリーの駆け込み需要を捉え、販売数量が前年比約5割増となりました。また3カ月連続で月間の最高販売数量を更新し、19カ月連続で前年超えも達成し、わずか9カ月で2019年の年間販売数量を突破しました。

当社は、「本麒麟」を通じて“ビールに近いうまさ”を実感いただくことで、ビール類市場の活性化を目指します。



キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよろこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

- | | |
|------------|--|
| 1. 商品名 | 「本麒麟（ほんきりん）」 |
| 2. 発売地域 | 全国 |
| 3. 容量／容器 | 350ml 缶、500ml 缶 |
| 4. 価格 | オープン価格 |
| 5. アルコール分 | 6% |
| 6. 酒税法上の区分 | リキュール（発泡性）① |
| 7. 販売予定数 | 約2,050万ケース（260,000KL）※大びん換算 |
| 8. 製造工場 | キリンビール北海道千歳工場、仙台工場、取手工場、横浜工場、名古屋工場、滋賀工場、神戸工場、岡山工場、福岡工場（全9工場） |

以上